

ひとを育てる活動

卒業おめでとう！ ご支援に感謝！

— PFP, CMIP を通じて支援の奨学生たち —

* **あしなが奨学生**：(会員 5 名で支援しました)
ジョセフ君 (SCMSI カレッジ) (下段に卒業記念写真)
アイリーン・グレースさん (THLT カレッジ)

* **ブラクール奨学生**：
メリーアンさん (ブラクール小・奥田さん支援)

* **CMIP 奨学生**

(小学校)

ジェフ君(バルナブ公立小・HANDS 支援)
ジョイリンさん(ボ・ビラーン公立小・井上さん支援)
キンベリさん(ボ・ビラーン公立小・HANDS 支援)、
デビーさん (コオン公立小・金原さん支援)、
オリエル君 (コオン公立小・HANDS 支援)
コリーンメイさん (ラムアフス小・篠原さん支援)
プリンセスさん(アトモロック小・HANDS 支援)
タスガリさん(アトモロック小・古川さん支援)
バンジーさん (パライソ公立小・HANDS 支援)

(ハイスクール)

ロレーナさん (アラベル公立・HANDS 支援)
ジェニー・マーさん (バコンコ公立・久保田さん支援)・
フランシス・ダイアナ (バサグ公立・久保田さん支援)
レイマーク君 (JD エスコビヨ公立・中田さん支援)
アリエル君 (コルンビオ公立・HANDS 支援)
ゲイマリーさん (パディドゥ公立・岩崎さん支援)

(CMIP カレッジ奨学生には、卒業生はいませんでした)



SCMSI カレッジ (地域開発科) 卒業のあしなが奨学生
ジョセフ君と両親。右端 PFP のロニーさん、左端九島 (3/23)

閉鎖を検討のブラクール・ハイスクール部門

約 30 年間、近隣のマノボ、ティボリ民族の中等教育を支えてきたブラクール・ハイスクールが今閉鎖の危機にあります。ジョセフ君の母校です。遠距離通学者の中途が増えて、在籍数基準の政府補助金が減りました。小学校は、HANDS ブラクール会員の教師給与支援で、今後も運営が継続される予定です。

吊り橋の補強工事完了 キアミ校閉鎖とバンリ校開校



— 護岸工事完了の吊り橋からキアミ側を望む —

4月中旬、6月の新学期開始を前に、2年前に建設の吊り橋の橋脚補強工事が終わりました。吊り橋建設と同じF Y基金からの支援です。

去年は、雨期でなくても濁流による橋脚付近の土手の侵食が進み、耐久性が懸念されました。この橋は、キアミの子どものキナム公立小への通学路です。

5、6年生だけでなく、低学年でも橋のおかげで、キナムバランガイの中心にある公立小へ通う子どもが増えて、橋の役割はさらに増しました。

金網に入れた大きな石を扇型に積み重ねた護岸工事は父母の協力で、約1カ月で終了しました。

15年ほど続いたCMIPのキアミ小の役割は終了しました。先生2名分の給与は、ナブル小のさらに奥地、バンリ村に開校する分校の教師給与に充当されます。

(関連記事 P1)

先週、CMIP事務局から、このキアミの教師だったチェリルの教師国家試験 (LET) 受験について、受験準備コース授業料などの支援要請が届きました。国立MSUを卒業後、3年間、子ども3人を育てながら、CMIPキアミ校で教えていました。閉校に当たり、公立小勤務必須条件であるLET挑戦を希望したものです。

LETに合格すれば、キナム公立小の教師になって、また、キアミの子どもを教えることができます。チェリルの願いを元支援者Nさんに伝えたところ、快諾いただきました。9月のLETに向けて頑張ってください。 (写真は、キアミ小3、4年担当だったチェリル)

